就労移行支援事業所
チャレジョブセンター
熊谷

2026年10月号
NO.125

チャレ＊くま通信

「チャレ＊くま通信」は就労移行支援事業所チャレジョブセンター熊谷が定期的に発行する広報誌です

就活・検定情報

▽一〇月はハローワークの合同面接会をはじめ、複数の通所メンバーさんが採用面接に臨まれました。企業見学や実習、そして面接練習を重ねてきたことで、自分らしく臨むことができたようです。合同面接会以外でも、気になっている企業をウォッチし続け、切符を手に入れたメンバーさんも。幸運とはまさに、準備がチャンスに出会うことですね。

▽資格試験では、MOS（パワーポイント）に一名、合格されました。当センターの土曜開所日には毎回訪れてくれている卒業生です。受験の申込手続きも簡単で、馴染みのある当センターで受験できるということで、就職後も土曜開所日には来所され、勉強を続けられています。



編集部まえがき

この季節は、色々なことと結び付けて楽しむ、活気あるシーズンだ。代表的なのは、食欲・読書・スポーツの3つだろう。私もそれにあやかって、今秋は挑戦をしようと思う。険しくて長い道も、カボチャの花言葉のように少しずつ、広く大きく成長して、踏破していきたい。

くまdeレポート

仕事を長く続けるには
～努力だけでは決まらない～

仕事を長く続けるには、何が必要か。努力か、意欲か、目標か。実際のところ、本人の頑張りだけでは決まらない気がする。では、どうすればよいか。通所メンバーの率直な意見をまとめた。

■努力で変えられぬこと

例えば、同じように仕事に取り組んでいても、丁寧に教えてくれる職場と、質問することさえ難しい職場とでは、働き続けるための負担が大きく異なる。人間関係がよければ、困ったときに相談でき、失敗しても立ち直りやすい。反対に、関係が悪かったり、会社の経営状況が厳しかったりすれば、本人がどれほど努力しても、仕事を続けることが難しくなる。

こう考えると仕事を長く続けるには「運」も大切な要素だと思う。よい上司や同僚に出会えるか、自分に合った職場に巡り合えるか。こうしたことは、自分の力だけで完全にコントロールすることができない。努力によって状況を改善できることもあるが、すべてを自分の責任として引き受ける必要はないだろう。

仕事が長続きしなかったとき、「自分には忍耐力がない」と考えてしまう人もいるかもしれない。しかし、長く続かなかった理由は、それだけではないはずだ。自分の努力で変えられることと、自分には変えられないことを分けて考えることも必要である。



職場の文化や雰囲気は、自分の努力だけでは変えられない

■継続することの意味

「最善の出口は、いつも通り抜けた先にある」という言葉がある。この言葉には、困難を乗り越えた先に、よりよい未来が待っているという意味が感じられる。しかし、私が選択した道の出口には、いつも失敗が待っていた。何をやってもうまくいかない。途中でやめるという決断もあり得たかもしれない。それでも「継続は力なり」と思っている。最後までやり抜いたからこそ、その道ではなかったんだと、確信をもって言える。

これは、継続することの大きな意味だと思う。経験しなければわからないことは、たくさんある。仕事を経験したからこそ、自分が得意なことや苦手なこと、働くうえで譲れない条件が見えてくる。たとえ期待した結果が得られなくても、その経験が次の選択に役立つことは十分にある。



どの選択肢を選んでも、継続した経験は次につながる

■継続するための知恵

とにかく我慢すればよい、というわけではない。心身をすり減らすほど無理をしているなら、休むことや職場を変えることも選択肢だ。会社を辞めることによってはじめて、自分に合った働き方を見つけられる場合もある。長く勤めることだけが成功ではない。大切なのは、努力すれば必ず報われると信じ込むことでも、運が悪ければ何をしても無駄だと諦めることでもない。自分にできる工夫を重ねつつ、自分では変えられない条件も冷静に見極めることである。続けること、休むこと、環境を変えること。その時々で選択をすることが継続する知恵になるだろう。